国際政治 I レポート課題【2023 年度】

担当 村主道美

下記から2問を選び論じなさい。(厳密な字数制限はしないが、それぞれの解答 1 個について A4 にして 3 枚くらいの分量で。各答案について、どの問題を選択したのかを最初に明示すること。)

1 抑止、防衛と生物

たとえば「亀」のように、授業の中で、防衛、攻撃、抑止、偽装等々において、人間に対して教訓を与えてくれる生物が紹介されたが、授業で紹介された以外で面白い生物をいくつか選び、それがどのような点で面白く、どのような理論的な示唆を人間に与えてくれるか(あるいは、あなたが選んだその生物の生き方を、人間社会はすでにもう取り入れているかもしれない)を与えてくれるかを論じなさい。

2 状況とその Narrative

黒澤明の映画「羅生門」あるいは芥川龍之介の「藪の中」を参考にしながら、授業で取り扱った以外に、ひとつの状況あるいはそれに至る過程なのに、大きく異なる Narrative (語り)が複数存在する、あるいは存在しうる状況を世界の政治の中で探し、その違いを説明し、その違いの起こる理由を説明しなさい。

3 変な国家

コロナで死去した志村けんは「変なおじさん」として世界的に有名であったが、世界には「変な国家」が存在する。授業で取り扱った以外に、現在あるいは過去の国家について、主権、国民、領土といった主要な、通常の状態の要素とされる点からみて「変な国家」を挙げ、その特徴と理由を論じなさい。これは、その国家が必ずしも小さな、人にあまり知られていないということを必ずしも意味しない。我々の知る国家でも、考え方によっては、十分変でありうる。

4 ニュースの重さ

世界のニュースの(特定の国における)重さを測ってください、と言われたら、あなたはどうしますか? 何を、誰でも検証できる客観的に見える指標にして、あるニュース(例えば、AKB48 のメンバー交代)が、別なニュース(ビンラディンの死)よりも重いかどうか分かりますか? 例えば、ある新聞の一面にのるか、あるいは複数の新聞雑誌で議論されるか、などいくつかの捉え方があるかもしれません。ともかく、①あるニュースがそれに適切と見えるくらいに重い、②あるニュースが意味ないのに重い、③あるニュースが意味が深いのに軽い、といった比較できるケースを少し集め、実際にその重さを何等かの方法で測定して、議論してください。授業では、「国境なき医師団」経由で世界に訴えられたコンゴでの 1 日数千人の婦女暴行よりも、同時期に起こったドリフターズのいかりや長介死去のニュースのほうが日本の新聞では重かった、という話をしました。

5 その他

上記以外でも、広い意味で今年度の国際政治Ⅰに関連することで、さらに知的好奇心を発展させるテーマを選んで、あるいは作り、その内容、疑問、仮説、そのアプローチの手法、論駁されるべき文献などを挙げて、議論をしてください。

締め切り 2023年8月10日 16時30分

量 1問についてA4で3枚くらいを標準とする。

提出先 プリントして法学部共同研究室の国際政治Ⅰ用レポートBox（東2-8F 郵送でもOK）

国際政治 I 試験問題

水曜 3 限 村主道美 担当

下記 1 - 6 の問題に答えなさい (一部、選択式であることに注意)

1 【15 点】

- ① 抑止力論から見た次の動物の特徴を説明しなさい。【1】亀 【2】蛇とマングース、【3】ハリネズミ 【4】赤い毒々しい毒キノコ 【5】フグ
- ② いわゆるチキンゲーム (ドライバーたちがそれぞれ、命を失うかもしれないような形で、高速で車を発進させる、ブレーキをかけたり、ハンドルをきったりしたら負け) はどのような意味で、抑止力の理論と関連するのか、説明しなさい。
- ③ 電車の中で、刃物を持って私に向かってくる男がいた。私は胸のポケットから常時持ち歩いている手榴弾を取り出して彼に見せ、「あと一歩でも近づいたら、きみも私も粉々さ、フフフ」と言った。この私の笑いは、抑止力論としては、どんな問題を提示することになるか。

2 【20 点】 下記は、日本の外務省の HP (ルワンダについて) に現在ある、ルワンダの歴史についての紹介の一部である。

- (1) 1962 年の独立以前から、フツとツチの抗争が繰り返されていたが、独立後多数派のフツが政権を掌握し、少数派のツチを迫害する事件が度々発生していた。1990 年に独立前後からウガンダに避難していたツチが主体のルワンダ愛国戦線 (RPF) がルワンダに武力侵攻し、フツ政権との間で内戦が勃発した。1993 年 8 月にアルーシャ和平合意が成立し、国連は停戦監視を任務とする「国連ルワンダ支援団 (UNAMIR)」を派遣したが、1994 年 4 月のハビヤリマナ大統領暗殺を契機に、フツ過激派によるツチ及びフツ穏健派の大虐殺が始まり、同年 7 月までの約 100 日間の犠牲者は 80~100 万人と言われている。
- (2) 1994 年 7 月、RPF がフツ過激派を武力で打倒すると、ビジムング大統領 (フツ)、カガメ副大統領 (ツチ) による新政権が成立した。同政権は大虐殺の爪痕を乗り越えようと、出身部族を示す身分証明書の廃止 (1994 年)、遺産相続制度改革 (女性の遺産相続を許可) (1999 年)、国民和解委員会及び国民人権委員会の設置 (1999 年) 等、国民融和・和解のための努力を行った。

授業で紹介し、BBC の番組 Rwanda Untold Story でも紹介されたように、上記には、特に下線部分に関連し、この narrative を大いに修正する形の narrative が存在する。

- 【1】 その修正版の narrative はおおよそどのような内容か、説明しなさい。
- 【2】 そのほか、上記のどのような部分に、あなたは、疑いをかける余地があると思うか？ 疑いをかけうる箇所を抜粋し、その疑いの内容（つまり、これとは違ってこのように解釈することもできるのではないか、それが問題の本質の認識に影響を与えるだろう、ということ）を説明しなさい。

3 【20 点】 次のなかから 4 つを選んで、簡単に議論しなさい。

- 【1】 Dumber' 'Number
- 【2】 想像の共同体
- 【3】 Balance of Power
- 【4】 サモリ・トゥーレ（タモリではない。ゲストスピーカーの話に出てきた）
- 【5】 日米地位協定と日米安保条約とサンフランシスコ平和条約
- 【6】 ウクライナ戦争における「限定戦争」的な性格
- 【7】 沖縄における広告「軍用地求む」
- 【8】 「銃、病原菌、鉄」における「競馬ならぬ競シマウマ」の可能性

4 【15 点】

A が B を攻撃しようと考えている。C はその攻撃を抑止しようと考えている。この Extended Deterrence（延長された抑止、ED）の問題について

- 【1】 ことを自分に有利に運ぶため、A は B に何ができるか
- 【2】 ことを自分に有利に運ぶため、C は A に何ができるか
- 【3】 A は C に対しては、どんな注意が必要か、C は A に対しては、どんな注意が必要か。

を、理論的に考え、説明しなさい。必要なら、自分で自由に条件を設定して議論してよい。

5 【15点】5-1か5-2, どちらかを選んで答えなさい

5-1 授業でも紹介した、有名な下記の歌<沖縄を返せ>がある。

固き土を破りて

民族の怒りに燃ゆる島 沖縄よ

我らと我らの祖先が血と汗をもて

守り続けた沖縄よ

我らは叫ぶ沖縄よ 我らのものだ沖縄は

沖縄を返せ、沖縄を返せ

上記の一文字を変えた替え歌がある、それは上記のどこをどう変えたものか？そのもとの歌の意味を、その替え歌はどのように変えることになるか？ それは「国民国家」(nation-state)という観点からすると、どのような意味で、日本と沖縄の関係の本質に、触れることになるのだろうか。

5-2

Timur Kuranの<Now out of Never>の議論において、10人から構成される国家AのThreshold Sequenceが $A = \{0, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90\}$ であったとして

- (1) なぜこのままではこの国の政府は倒れるのか、説明しなさい。
- (2) たとえば、この左から2番目のRT (Revolutionary Threshold) = 10の者がこの集団からいなくなったら、状況はどう変わるのだろうか？ 説明しなさい。
- (3) この国で一回政府があっさり倒れてしまったら、次に新しくできた政府は、同じような崩壊が繰り返されぬように、この状態、あるいは条件をどう

変えていくのがいいのだろうか？（例えば、情報の伝わり方、について、各集団への支持に対する報酬や、反対に対する懲罰について）

6 【15点】下記に答えなさい

ロヒンギャ問題とミャンマーのクーデターについて、まず下記

①②③を見てほしい。

- ① 2015年の選挙に続いて、2020年の選挙でも NLD（アウンサンスーチーの側）敗れた軍は、NLDの指導者を打倒するクーデターを行うことにした（これは、2020年の選挙のあとに、軍に、クーデターの意思が芽生えた、という解釈となる。）

だが

- ② 2015年から2020年の間、あるいは2015年の選挙の前から、いつか NLDの権力を打倒しなければならない、と軍が考えていた、という解釈もあるだろう。つまり、それを行う、ということは腹に決めているのだが、いつ行うか、をはっきりさせていなかった、ということである。そして、クーデターをもし行ったら、他国、例えば日本がどんな反応をするか、をその間に軍は確かめたかった。2012年のラカイン州のロヒンギャに対する殺戮があった。だが日本はミャンマーへの援助を加速した。2016年—17年のラカイン州のロヒンギャ等に対する殺戮があった。だが日本はそれを Genocide と呼ばぬばかりか、ミャンマーへ援助を続けた。だから、この日本のミャンマー軍への優しさが、クーデターの一因である。という解釈となる。

- ③ <ラカイン州の2012年、16—17年の事件の後、世界の批判は NLD に対して前より批判的になった。これが NLD の立場を弱め、これが軍のクーデターへの青信号となった。もっと世界全体で彼女を強く支えていたら、彼女の NLD を倒そうと軍はしなかつただろうに。。。> と言いたい者もいる。

この中でどの解釈が正しいのかを考えると、あなたはどのような思考をし、例えば、どのような証拠を集めようとするか？